

受験生の皆さまのさまざまなご質問にお答えします。

## AO入試について

**Q** AO入試は、従来の推薦入試、特に自己推薦入試と呼ばれるものと、どこが違うのでしょうか？

**A** 本学のAO入試は、他大学で行われている自己推薦入試とは異なります。自己推薦入試と違う点は、各学科の教員からなるAO委員による評価(特に面接による評価)が合否判定に大きなウエイトを占める点です。受験生のさまざまな長所や大学での勉強意欲などを多面的かつ総合的に評価します。

また、本学のAO入試の場合、出願が8月中旬からできること、第一次選抜には入学検定料を取らないことも特徴です。

**Q** 第一次選抜は「書類審査と面接」とありますが、特にどんな点を評価対象にするのですか？

**A** 受験生に求める学力、意欲、適性は、「AO入試における重要評価点(学科別)」(14ページ)に示されるように、重視している点が学科ごとに違います。したがって、面接は各学科のAO委員がそれぞれの方法で行います。

面接では、多くのことについて、かなり内容の深い質問がされます。そして、その受験生を入学させたとき、「良い」(単に勉学の面で優れているという点だけでなく、個性的で人間的な魅力のある)学生として、その学科に良い影響をもたらすかどうか重要な評価のポイントとなります。

受験生は申請書や面接で、そうした点を自分のアピールポイントとして、しっかりと伝えることができるかどうか、非常に重要になります。

**Q** AO入試には何回か出願期間がありますが、複数回の出願は可能ですか？

**A** A日程には2回の出願期間がありますが、出願できるのは2回のうちいずれか1回だけです。したがって、A日程の中で同じ学科に重ねて出願したり、複数の学科に出願することはできません。

これに対して、A日程とB日程の両方に出願することは可能です。ただし、A日程で出願した学科にB日程で再度出願することはできません。

また、B日程は出願期間が短いので、出願する場合は早めに準備をしておいてください。

**Q** 第一次選抜の面接日時の希望は聞いてもらえますか？

**A** 希望を出すことは出来ません。ただし、遠隔地からの受験生には、なるべく日帰り可能な時間帯に面接できるよう配慮しています。

**Q** 第一次選抜の評価がBやCの場合、合格の可能性はどのくらいでしょうか？

**A** 2017年度AO入試結果(38ページ)を参照してください。一般的には、B評価の場合は合格する可能性は高く、逆にC評価で合格する可能性は低いことが分かります。

**Q** AO入試では、推薦入試よりもさらに早い時期に、実質的に合格が保証される受験生も出てくると思いますが、そうした人たちは、その後の学校生活に緊張感がなくなるのではないのでしょうか？

**A** その危険性は十分に考えられます。それを防ぐために、本学ではAO入試の合格者には、4月の入学時まで学習しておくべき課題を与えています(eラーニングによる全学共通課題。各学科によって独自の課題を出す場合もあります)。入学までの準備期間を十分に活かして、大学の学習に必要な学力の向上を目指していただきたいと思います。

**Q** 英文学科で成績を利用する英語外部試験はどのようなものが対象になりますか？

**A** 英検、GTEC CBT、GTEC for Students、IELTS、TOEIC(L&R)、TOEIC+S&W、TOEFL iBT、TEAP(RLWS)の公式スコアが対象になります。今年度から実施する英語外部試験利用入試の得点換算表に載せている対象試験制度を参考にしてください。得点が高ければ、AO入試第一次選抜の評価に反映されます。

**Q** 経済学科のグループ・ディスカッションはどのようにして行うのですか？

**A** 4人1組で行います。所要時間は40分程度です。ディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分、出題されたテーマについて討論を行います。

**Q** 情報基盤工学科の数学についての質問はどのようにになりますか？

**A** 情報基盤工学科AO入試面接における質問について、2018年度入試は「数学Ⅰ」を範囲とします。なお、翌2019年度入試からは「数学Ⅰ」に加え「数学Ⅱ」も範囲に含めます。

情報基盤工学科のAO入試については、情報基盤工学科ウェブページの「情報基盤工学科Q&A」もご参照ください。  
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/engineering/ict/>

**Q** 地域構想学科のプレゼンテーションはどのようにして行うのですか？

**A** 「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。取り上げる問題への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に評価されます。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。

## 推薦入試について

**Q** 文化活動に優れた者の推薦入試は、どのような人が出願できますか？

**A** 高校在学中に文化活動(応援団、チアリーディング、合唱、吹奏楽、美術、書道、英会話、演劇、放送、ロボット製作)で活躍してきた方が該当します。対象となる文化活動は、本学の学生会・工学部学生会および特別団体に登録されている課外活動で本学が指定する団体にあるものになります。

**Q** 文化活動に優れた者の推薦入試は、AO入試とはどう違うのですか？

**A** 高校在学中にクラブ活動等で活躍し、入学後も本学の指定する学生団体やサークル等でその活動を続けることが条件になります。書類予備審査で受験資格を認められれば、AO入試よりも合格率が高くなります。

**Q** 文化活動に優れた者の推薦入試の書類予備審査とは何ですか？

**A** 「文化活動実績の評価等に関する書類予備審査」申請期間中に「書類予備審査申請書」を提出し、高校での活動内容や大会・コンクールの結果などを評価して、正式な出願の前に受験資格を審査するものです。この審査によって受験資格を認められた方が本出願できます。

**Q** 文化活動に優れた者の推薦入試では、高校外での団体に所属している活動も評価されますか？

**A** 高校のクラブ活動等以外でも評価の対象となります。

**Q** 文化活動に優れた者の推薦入試は、実技をすることはありますか？

**A** ありません。書類のみの審査となります。

**Q** スポーツに優れた者の推薦入試または文化活動に優れた者の推薦入試とAO入試A日程は併願できますか？

**A** 併願はできません。どちらかにのみの出願となります。ただし、スポーツに優れた者の推薦入試および文化活動に優れた者の推薦入試に不合格の場合には、AO入試B日程へ出願できます。

## 一般入試について

**Q** 一般入試前期日程の全学部型と学科分割型とは、どのようなことですか？

**A** 全学部型(2月1日)は、すべての学科で試験を実施します。学科分割型(2月2日、3日)は、16学科を二分して試験を実施します。  
したがって、それぞれの日に指定された学科から1つを選んでそれぞれ出願し、受験することができます。3日間とも受験することができ、また同じ学科を全学部型と学科分割型から選んで2回受験することも可能です。

**Q** 一般入試前期日程の試験場は、住んでいる地域の都市以外を選ぶことはできますか？

**A** できます。住んでいる地域から遠くても、前後の日の都合によって、一番受験しやすい試験場を選択していただいてもかまいません。ただし、出願後の試験場変更はできませんのでご注意ください。

**Q** 選択科目は試験会場で選べますか？

**A** すべての学科において、試験が開始されて問題を見てからでも受験科目を選べます。出願時点では、選択科目を申請する必要はありません。

**Q** 受験した科目により有利・不利はありますか？

**A** ありません。選択した科目によって有利・不利が生じないように、各科目を偏差点化し、その値で合否を決定しています。

**Q** 合否判定の際、調査書はどの程度評価されるのでしょうか？

**A** 本学では、学力試験に加えて、調査書を審査し、その総合評価で合否判定を行っています。しかし、総合評価といっても、学力試験の成績が大きな比重を占めています。したがって、調査書のみで不合格になることはありません。

**Q** 一般入試後期日程で文学部英文学科、教育学科と工学部を志願する際、第二志望の学科を選択することができるというのは、どういう意味ですか？

**A** たとえば工学部で第二志望の学科を記入した場合、出願した学科には入試の得点が足りなく不合格でも、第二志望の学科の合格最低点があなたの得点より低い場合に第二志望の学科に合格となる場合があります。  
また、英文学科と教育学科との間で第二志望学科を記入した場合も同様です。  
どちらの場合も、出願時に第二志望を記入しなければ、その対象にはなりません。

**Q** 入試問題(過去問題)を見ることが出来ますか？

**A** 一般入試問題(正答および正答例付)を本学ホームページに掲載しています。  
また、一般入試問題集を発行し、ご希望の方に差し上げる予定です。

## 英語外部試験利用入試について

**Q** 英語外部試験利用入試と一般入試前期日程は併願できますか？

**A** 英語外部試験利用入試は2月1日に行うので、同日に行われる一般入試全学部型の試験とは併願できません。  
2月1日に英語外部試験利用入試を受験して、2月2日と3日の一般入試学科分割型を受験することはできません。

## 一般入試・センター試験利用入試共通

**Q** 複数の出願を予定しています。募集要項(願書)はいくつも取り寄せないといけないのですか？また、調査書は、出願する数だけ必要ですか？

**A** 募集要項(願書)には、前期日程と後期日程用の志願票が1部ずつ入っています。1部の志願票で複数出願できませんので、取り寄せるのは1部のみでかまいません。調査書についても1部のみで複数出願できます。

また、WEB出願の場合、募集要項を取り寄せなくても出願できます。

**Q** センター試験利用入試で、複数学科の併願はできますか？また、一般入試との併願はできますか？

**A** センター試験利用入試では前期も後期も複数学科を併願することができます。

また、センター試験利用入試と一般入試との併願もできます。併願する場合は、併願する分の入学検定料が必要となります。

**Q** 一般入試前期日程やセンター試験利用入試前期で、ある学科に合格しましたが、一般入試後期日程やセンター試験利用入試後期を受験することができますか？また、入学手続はどのようにになりますか？

**A** どちらも受験できます。さらに一般入試前期日程やセンター試験利用入試前期で合格し、第一次手続を完了し延納願を提出している方または全納手続を完了している方が、一般入試後期日程やセンター試験利用入試後期で合格した場合、本人の申し出により、一般入試前期日程・センター試験利用入試前期分の入学金または入学時納付金を一般入試後期日程・センター試験利用入試後期で合格した学科へ振り替えることができます。

## WEB出願について

**Q** WEB出願はどのようなものですか？

**A** 平成30年度入試は一般入試前期日程・後期日程、センター試験利用入試前期・後期、英語外部試験利用入試でWEB出願を実施します。

インターネットに接続できるパソコンがあれば、募集要項が手元になくとも全国どこからでも本学ホームページから出願登録できます。ただし、調査書等は本学へ郵送する必要があります。

また、WEB出願で1出願につき5,000円割引になる予定です。

詳細は10月以降に本学ホームページ、募集要項を確認してください。

## 合格発表について

**Q** 大学から合否の通知はあるのでしょうか？

**A** 本学では不合格通知は行っていません。合格者には発表日当日の消印で合格通知書と入学手続要項を速達で郵送します。一般入試、センター試験利用入試、英語外部試験利用入試、推薦入試、AO入試、帰国生特別入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試については、合格発表日に合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォン、携帯電話、電話で合否を確認することができます(各募集要項を参照)。

なお、本学入試課への電話、ファックス、メール等による直接の合否問い合わせには一切お答えしていません。間違いのもとになりますので、ご了承ください。

**Q** 補欠合格はありますか？

**A** 合格者の入学手続状況により、欠員が生じた場合には補欠合格を出すことがあります。合格者には速達郵便で合格通知書を郵送します。ホームページへの掲載はいたしません。補欠合格の場合は、別に指定された期間内に入学手続をしなければなりません。

## その他

**Q** 出願状況を知ることはできますか？

**A** 一般入試、センター試験利用入試については、出願期間の締切後に本学ホームページでお知らせします。前期日程は1月22日頃、後期日程は2月26日頃を予定しています。

**Q** 志願票の記入を間違えてしまいました。修正方法を教えてください。

**A** 二重線を引いて訂正印を押印し、余白部分に正しい内容を記入してください。

**Q** 出願期間前に入学検定料を振り込んでも良いですか？

**A** 出願期間に間に合うように振り込みをしていただければ、出願期間前でも振り込み可能です。コンビニエンスストアでは出願開始日2週間前から納入可能になります。

また、WEB出願でも出願開始日2週間前から出願登録できます。

**Q** 授業(講義)の内容を教えてください。

**A** 本学ホームページの大学要覧(シラバス)で確認できます。

東北学院大学HPトップページ ▶ 授業・学生生活 ▶  
授業・試験・成績・欠席届 ▶ ○○学部(学部を選択) ▶  
科目検索